集学的統合歯周治療学特論

Advanced Course of Multidisciplinary Integrated Periodontal Treatment

キーワード

① 歯周病と全身疾患
② 全身疾患関連性歯周炎
③ 医科歯科連携
④ 生活習慣病
⑤ 歯周病予防管理

授業概要

歯周病の診断から基本治療、歯周外科、口腔機能回復治療までの治療の流れ、術式を修得する。また、同時に全身疾患が関連している重度歯周炎症例に対する集学的統合医療、全身疾患（糖尿病、動脈硬化性疾患、非アルコール性脂肪性肝炎など）と関連した歯周炎に対する治療法と、それに関わる医科歯科連携の診療体系のあり方、および生活習慣病としての歯周病の予防管理体制のあり方などについて論文の抄読を通して議論を行い、歯周炎と全身疾患との関連について教授する。

授業科目の学修目標

歯周治療および歯周医学に関わる基礎講義、臨床実習を通し身に着けてきた知識を基に、全身疾患関連の特に重度歯周炎に対する医科歯科連携した検査、診断、治療体系およびリスク管理の方法について、最新の国際論文や国際学会、シンポジウムを通して包括的に修得することを目標とする。

授業計画

① 全身疾患関連性歯周炎の検査、診断　6コマ　三辺正人
② 全身疾患関連性歯周炎の原因除去治療（特に糖尿病関連性歯周炎）　6コマ　三辺正人・青山典生
③ 医科歯科連携した歯周病と糖尿病のスクリーニング法について　6コマ　三辺正人・青山典生
④ 全身疾患関連性歯周炎（特に糖尿病、動脈硬化性疾患、脂肪性肝炎）に対する集学的強化療法について　6コマ　三辺正人・青山典生
⑤ 生活習慣病としての歯周炎のリスク管理法について　6コマ　三辺正人・青山典生

教科書および参考書

アンチエイジングの基礎と臨床　Medical View　社　2013年、糖尿病診療ハンドブック３．中外医学社2016、ペリオドンタルメデイスンに基づいた抗菌療法の臨床　医学情報社　2014年

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

歯周病のリスク管理特論、歯周医学実習の履修内容および関連教材、論文内容を理解、整理し臨むこと。

大学院生が達成すべき行動目標

① 全身疾患関連性歯周炎の検査、診断法を理解、説明できる。
② 糖尿病関連性歯周炎の原因除去治療を理解、説明できる。
③ 歯周病と糖尿病の双方のスクリーニング法を理解、応用できる。
④ 全身疾患関連性歯周炎に対する抗菌療法について説明できる。
⑤ 糖尿病関連性歯周炎の医科歯科連携したリスク管理法を理解、応用できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	25%	50%	0%	25%	0%

評価の要点

・講義終了後、口頭試問により知識の理解度を判定する。5%×5回=25%
・レポートは、授業計画について課題を提出する。25%
・分野の研究報告会、大学院研究報告会において達成度を判定する。25%×2回=50%

理想的な達成レベルの目安

集学的統合歯周治療学特論の理想的な達成レベルは75%以上とする。